

2014 文部科学大臣杯 JAPANKART CUP with HDX



開催コース/砥波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/10月19日
天候/晴れ 雨絡み状況/ドライ
Report&Photo/月刊JAPAN KART

いよいよ今シーズンも終盤に差し掛かるジャパンカートカップ。その第5戦は、KT、MAX、オープン、ミッション、そしてWR250の5クラスが開催され26チームが参戦。爽やかな秋空のもと、1時間たっぷり楽しんだ。

今回、総合トップに輝いたのは53周を走りきったWR250クラスのガレージCブルーエンジェルス。

このチームは普段、YZ85エンジンを搭載し、ミッションクラスに出場する常勝チームだが、今回はよりパワフルなWRヘクラスチェンジしての勝利だ。

総合2位に入ったのはMAXクラスの隼withJMP。1位から5位までWR勢が占めるなかにおいて、唯一MAXクラスで2位に食い込む快挙を遂げ、圧倒的な存在感を見せつける。ドライバーの橋本隼は、普段は榛名モータースポーツランドでMAXクラス参戦している選手でもある。ジャパンカートカップは今期よりフル参戦している選手だ。

そして今回、最終戦を前にしてタイトルを決めたのがKTクラスの生方靖亜。生方は開幕戦3位から始まり、2戦以降はここまですべて全勝という素晴らしい成績をおさめ、11月に岡山国際サーキットで開催される最終戦を前にタイトルを決定した。



ミッションクラスからWR250ヘクラスを変えて参戦したガレージCブルーインパルスが、圧倒的なスピードで独走状態のままファーストチェッカー。総合優勝をその手にした



KT100クラス表彰。一番左が今回、早々にタイトルを決定した生方靖亜だ



ミッション表彰式。ランキングトップは今回、2位に入ったガレージC大宮ワークスだ



オープンにはチームショウタとS.L.R.Kartingの首位争い。その差はわずか3ポイント



ミッションクラスでは無類の強さを発揮しているガレージCブルーエンジェルス